

1. 次の設問を読んで、それぞれ正しいものを選んで、記号で答えなさい。

- (1) 神宮に所属する神社の社格の順番が正しいのはどれですか。
- (イ) 別宮・摂社・末社・所管社・正宮 (ロ) 内宮・外宮・別宮・摂末社
(ハ) 正宮・別宮・摂社・末社・所管社 (ニ) 内宮・外宮・正宮・摂末社
- (2) 神宮の一年間で最も大切なお祭りの説明で正しいのはどれですか。
- (イ) 10月に行われる新嘗祭は新穀を初めて天照大神にお供えし感謝するお祭り
(ロ) 11月に行われる神嘗祭は新穀を初めて天照御神にお供えし感謝するお祭り
(ハ) 11月に行われる新嘗祭は新穀を初めて天照御神にお供えし感謝するお祭り
(ニ) 10月に行われる神嘗祭は新穀を初めて天照御神にお供えし感謝するお祭り
- (3) 神宮ではお供え物を自給自足することを原則としていますが、次のことばの組み合わせで正しくないのはどれですか。
- (イ) 御塩・二見・御塩殿 (ロ) 米・二見・神田
(ハ) 乾鯛・篠島・三節祭 (ニ) のし鰻・国崎・三節祭
- (4) 火除橋は何のためにありますか。
- (イ) 内宮と外宮を区別するため
(ロ) 皇族がご参拝の際、お車を下車される場所を表示するため
(ハ) もともととは防火のため
(ニ) 神聖な忌火を用いる神域であることを表示するため
- (5) 行在所の読み方はどれですか。
- (イ) あんざいしょ (ロ) こうざいしょ (ハ) ぎょうざいしょ (ニ) こうざいどころ
- (6) 一時中断した式年遷宮の復興のひとつのきっかけとなった宇治橋の造替を、最初に勧進（寄付）で成し遂げたのは誰ですか。
- (イ) 守悦 (ロ) 阿国 (ハ) 清順 (ニ) 行基
- (7) 式年遷宮後、両宮の棟持柱は何になりますか。
- (イ) 内宮は桑名の七里の渡しの鳥居、外宮は関の追分の鳥居
(ロ) 内宮は関の追分の鳥居、外宮は桑名の七里の渡しの鳥居
(ハ) 内宮は宇治橋東詰の鳥居、外宮は宇治橋西詰の鳥居
(ニ) 内宮は関の追分の鳥居、外宮は四日市の日永の鳥居

- (8) 外宮の域内にある三ツ石の説明で正しいのはどれですか。
- (イ) 式年遷宮で御装束神宝や奉仕員を祓い清める川原大祓が行われるところ
(ロ) 式年遷宮で御船代を祓い清めるところ
(ハ) かつて数十箇所 に点在していた四至神の中心
(ニ) かつて式年遷宮後に古神宝を埋めていたところ
- (9) 現在神宮文庫の門となっている通称「黒門」はかつてはどこの門でしたか。
- (イ) 慶光院客殿 (ロ) 山田三方
(ハ) 福島御塩焼大夫邸 (ニ) 山田奉行所
- (10) 外宮にあり、内宮にないのはどれですか。
- (イ) 御酒殿 (ロ) 九丈殿 (ハ) 忌火屋殿 (ニ) 四至神
- (11) 内宮にあり、外宮にないのはどれですか。
- (イ) 五丈殿 (ロ) 瀧祭神 (ハ) 神楽殿 (ニ) 外幣殿
- (12) 皇大神宮別宮の倭姫宮はいつ創建されましたか。
- (イ) 垂仁天皇 25 年 (ロ) 持統天皇 4 年
(ハ) 明治 22 年 (ニ) 大正 12 年
- (13) 玉垣にカケチカラがかけられるのはいつですか。
- (イ) 祈年祭と新嘗祭 (ロ) 新嘗祭と神嘗祭
(ハ) 神嘗祭と月次祭 (ニ) 新嘗祭と元始祭
- (14) 式年遷宮の御木曳行事で、内宮が川曳であるのに対して、外宮が陸曳で行われる理由に最も近いのはどれですか。
- (イ) 鎌倉時代の伊勢神道で外宮の祭神は水神とされたので、御木を水に入れることをはばかったから
(ロ) 倭姫命が内宮は川を、外宮は陸を曳くように定められたから
(ハ) 御木を運ぶ河川の消滅により御用材を宮川堤から曳くようになったから
(ニ) 江戸時代に山田は宇治より裕福であったので御木曳車を所有できたから
- (15) 次の神社で、社殿を有するのはどれですか。
- (イ) 加努弥神社 (ロ) 宮比神 (ハ) 屋乃波比伎神 (ニ) 御稻御倉神
- (16) 神宮の神馬が正宮を参拝することを何といいますか。
- (イ) 神馬牽参 (ロ) 神馬見参 (ハ) 神馬参上 (ニ) 神馬牽拝

- (17) 東宝殿と西宝殿が、正殿の後方に配置されているのはどこですか。
(イ) 皇大神宮 (ロ) 豊受大神宮 (ハ) 瀧原宮 (ニ) 月読宮
- (18) 倭姫命の父君はだれですか。
(イ) 倭健命 (ロ) 日本武尊 (ハ) 崇神天皇 (ニ) 垂仁天皇
- (19) 豊受大神宮が伊勢にご鎮座したのはどの天皇の時ですか。
(イ) 垂仁天皇 (ロ) 持統天皇 (ハ) 天武天皇 (ニ) 雄略天皇
- (20) 鎌倉時代の伊勢神道が提唱された目的の一つは何でしたか。
(イ) 式年遷宮の再興 (ロ) 慶光院の排除
(ハ) 外宮の地位向上 (ニ) 摂末社の復興
- (21) 式年遷宮の祭りで木本祭が行われた日の日中に行われるのはどの祭りですか。
(イ) 御杣始祭 (ロ) 心御柱奉建 (ハ) 山口祭 (ニ) 御船代祭
- (22) 御白石持行事についての説明で正しいのはどれですか。
(イ) 御白石持行事は2年間にわたって盛大に行われる
(ロ) 御白石持行事は遷御の前年の夏に行われる
(ハ) 御白石持行事は最初は神領に住む者の義務であった
(ニ) 御白石持行事はこぶし大の白色の花崗岩を正殿が立つ御敷地に敷き詰める
- (23) 高倉山の頂上にある古墳の入口の岩であったとも伝えられていた石はどれですか。
(イ) 亀石 (ロ) 粃種石 (ハ) 龍虎石 (ニ) 踏まぬ石
- (24) 神宮神田で行われないのは次のどれですか。
(イ) 神田下種祭 (ロ) 御田植式 (ハ) 稲刈式 (ニ) 拔穂祭
- (25) 神宮の建築様式である唯一神明造の特徴でないのはどれですか。
(イ) 掘立式柱 (ロ) 四角柱の棟持柱
(ハ) 萱葺き屋根 (ニ) 檜の素木づくり
- (26) 内宮神楽殿の起源となった施設はどれですか。
(イ) 内宮文殿 (ロ) 内宮祈祷所 (ハ) 林崎文庫 (ニ) 子良館

- (27) ニノ鳥居の説明で正しいのはどれですか。
- (イ) 神饌をお供えする前にお祓いをする場所
 - (ロ) 江戸時代まで神域とそれ以外の境界だった場所
 - (ハ) 神御衣祭でお供えされる神御衣をお祓いする場所
 - (ニ) 皇族が神宮をご参拝される際にお祓いを受けられる場所
- (28) 伊勢信仰が全国に展開した大きな要因は次のどれですか。
- (イ) 江戸時代、諸国の大名は伊勢参宮が義務づけられていたため
 - (ロ) 伊勢の松阪商人が全国で活躍し、神宮の御札を直接配布したため
 - (ハ) 南北朝時代、北畠親房などの南朝方の武将が各地に伊勢信仰を伝えたため
 - (ニ) 伊勢の御師が全国の民衆と深い繋がりをもったため
- (29) 神宮大麻は毎年いつ頒布が開始されていますか。
- (イ) 元旦
 - (ロ) 節分
 - (ハ) 神嘗祭
 - (ニ) 9月17日
- (30) 三種の神器に関する組み合わせで正しいのはどれですか。
- | | | |
|------------|--------|--------|
| (イ) 剣・熱田神宮 | 勾玉・皇居 | 鏡・伊勢神宮 |
| (ロ) 剣・熱田神宮 | 勾玉・外宮 | 鏡・内宮 |
| (ハ) 剣・気比神宮 | 勾玉・籠神社 | 鏡・伊勢神宮 |
| (ニ) 剣・熱田神宮 | 鏡・伊勢神宮 | 弓・皇居 |
- (31) 大宮司以下の神職を祓い清める大祓はどこで行われますか。
- (イ) 忌火屋殿前の祓所
 - (ロ) 内宮第一ノ鳥居内の祓所
 - (ハ) 内宮第二ノ鳥居内の川原祓所
 - (ニ) 内宮斎館の前庭
- (32) 式年遷宮が制度化される以前の建て替えはどのようにして行われていましたか。
- (イ) 宮司の責任のもと行われていた
 - (ロ) 神郡の神税を用いて造宮使が行っていた
 - (ハ) 神領民が自発的に行っていた
 - (ニ) 伊勢国司が正税を用いて行っていた
- (33) 承元4年(1210)に神宮に関わる出来事はどれですか。
- (イ) 平清盛が勅使として神宮を訪れて楠の枝を切らせた
 - (ロ) 月夜見宮が別宮に昇格した
 - (ハ) 皇の字の使用をめぐって内宮と外宮で論争が起こった
 - (ニ) 西行が伊勢や二見に滞在した

2. 次の文は、月読宮を案内する文章です。()の中に入る語を選びなさい。

月読宮は伊勢市(34)にあり、(35)について(36)の上位の(37)です。

ご祭神は(38)で、この神は(39)の(40)にあたります。域内には(41)を祀る(42)と、(43)にあたる神を祀る(44)(45)があります。御敷地は他とは異なり(46)に二箇所あり、(47)で交互に社殿が建てられます。

- | | | | |
|----------------|------------|------------|--------------|
| (34) (イ) 宮後 | (ロ) 楠部町 | (ハ) 中村町 | (ニ) 神田久志本 |
| (35) (イ) 皇大神宮 | (ロ) 豊受大神宮 | (ハ) 荒祭宮 | (ニ) 瀧原宮・瀧原並宮 |
| (36) (イ) 内宮 | (ロ) 外宮 | (ハ) 遙宮 | (ニ) 月読四宮 |
| (37) (イ) 別宮 | (ロ) 摂社 | (ハ) 遙宮 | (ニ) 月読四宮 |
| (38) (イ) 月弓明神 | (ロ) 月読尊 | (ハ) 月読尊荒御魂 | (ニ) 月光大神 |
| (39) (イ) 天御中主 | (ロ) 須佐之男 | (ハ) 天照大神 | (ニ) 伊弉諾 |
| (40) (イ) 父親 | (ロ) 母親 | (ハ) 姉 | (ニ) 弟 |
| (41) (イ) 荒御魂 | (ロ) 和御魂 | (ハ) 幸御魂 | (ニ) 奇御魂 |
| (42) (イ) 月読宮 | (ロ) 月読荒御魂宮 | (ハ) 伊佐奈岐宮 | (ニ) 伊佐奈弥宮 |
| (43) (イ) 両親 | (ロ) 兄弟 | (ハ) 子孫 | (ニ) 御伴神 |
| (44) (イ) 伊佐奈弥宮 | (ロ) 月読荒御魂宮 | (ハ) 葭原神社 | (ニ) 草奈岐神社 |
| (45) (イ) 月夜見宮 | (ロ) 葭原神社 | (ハ) 伊佐奈岐宮 | (ニ) 佐美長神社 |
| (46) (イ) 東西 | (ロ) 横一列 | (ハ) 左右 | (ニ) 前後 |
| (47) (イ) 20年間隔 | (ロ) 40年間隔 | (ハ) 東西 | (ニ) 左右 |

3. 次の文の（ ）に入ることばを選びなさい。

榊は神社を象徴する代表的な植物です。(48)の一種で、生命力が強く、常に瑞々しい姿をしています。神宮では社殿をお飾りするほか、お祓いに用いる(49)や、神前に捧げる(50)など神事に用いられます。

(48) (イ) 落葉樹 (ロ) 広葉樹 (ハ) 常緑樹 (ニ) 針葉樹

(49) (イ) 切り幣 (ロ) 大麻 (ハ) 銭切 (ニ) 祓えつ物

(50) (イ) 玉串 (ロ) 神御衣 (ハ) 御蓑御笠 (ニ) 懸税